ひかりのこ

11月園だより

認定こども園
聖ミカエル幼稚園
2026年10月23日

生活発表会からクリスマスへ

秋晴れに恵まれた今日は、乳児部うさぎ組の子どもたちが憧れの園バスに乗って北海道大学へと出かけてきました。大きなバスに揺られる高揚感とともに、北大の広大なキャンパスで色鮮やかなイチョウの葉やどんぐりを集め、秋の自然を全身で楽しむ子どもたちの弾けるような笑顔が印象的でした。

さて、幼児部はいよいよ来週『生活発表会』を迎えます。これまで子どもたちは、自分の気持ちや考えを表現する楽しさを味わいながら、お友達と一緒に力を合わせて一つのものを作り上げる練習や準備を重ねてきました。総練習では、それぞれの衣装を身につけ、役になりきって演じる姿が見られました。31日は、その頑張りをさらにパワーアップして大好きな家族に見せるんだと意気込んでいます。

思い通りにいかずに悩んだり、お友達と意見がぶつかったりすることもありましたが、そうした過程を一つひとつ乗り越えてきた子どもたちの表情は、いま達成感と自信に満ち溢れています。この生活発表会という取り組みを通して、自分の役割に責任を持ったり、お友達を思いやったりと、心も体も本当に大きくたくましく成長したことを実感しております。本番の舞台での姿はもちろんのこと、そこに至るまでの子どもたちの確かな成長の歩みを、どうぞ温かく受け止めていただければ幸いです。

そして11月の後半に入ると、園内はいよいよイエス様のご誕生を待ち望む「クリスマス（アドベント）」の時へと向かっていきます。周囲への感謝や神様の愛を感じながら、静かに心を整えていく大切な季節の始まりです。

行事や季節の深まりとともに、子どもたちが日々の生活の中で感じ取っていく豊かな経験を大切に、これからも温かく寄り添ってまいります。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げますとともに、来週の発表会での子どもたちの輝く姿を共に喜べることを心より楽しみにしております。

園長　小澤暢子

「あなたは価高く、貴い」

チャプレン　上平　更

「わたしの目にあなたは価高く（神様にとって極めて価値があり）、貴く、わたしはあなたを愛している」

（イザヤ書43:4）

神様は、誰かの存在をその人の知識や技術、見た目で判断しません。何かができるからとかできないからということは関係なく、あなたというこの世にたった一人の人間の命を愛し、その存在を喜ばれます。

生活発表会の日が近づいてきました。お家の方々も子どもたちがこれまで取り組んできたことを見てきたことでしょう。上手にできていることも、まだ不安に思うこも…。

私たち大人は、新しいことを覚えたり挑戦したりすることがどれほど難しいかをよく知っています。 だからこそ、子どもたちがステージに立つ時だけでなく、その準備の期間、その舞台を終えた後にも、彼らの一挙一動の中にある尊い命の輝きを見届けてください。その光を、涙を、彼らと共に心のアルバムに残してください。他の誰も演じることのできない彼らひとりひとりの命の姿を。